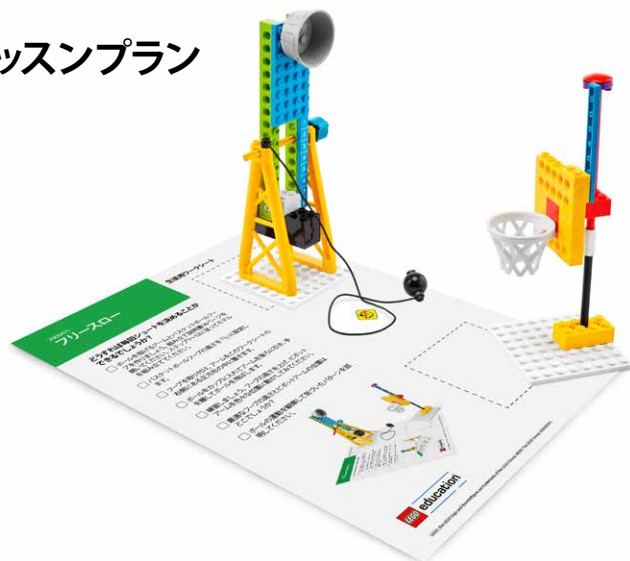


2000471

フリースロー

レッスンプラン



スリーポイントシュートを入れる際のバスケットボールの運動について調べましょう。

どうすれば毎回完璧なシュートを決めることができるでしょうか？

このレッスンではバスケットボールの動きを観察し、その運動のパターンを探します。

🕒 30～45分 📦 初級 🎓 小学校高学年

関心を引きつける (クラス全員、15分)

- バスケットボールについて簡単なディスカッションを促します。
- いくつか質問をたずね、生徒の思考を促します。質問の例:
 - 「スリーポイントシュート」とは何ですか？ (スリーポイントシュートとは、ラインの外からゴールに入ったシュートのことを指します。)
 - ボールを動かすのは何の力ですか？ (押す力と引く力)
 - 打ち上げられたボールが下に戻ってくるのは何の力のためですか？ (重力)
- 組み立てチャレンジに進むことを伝えます。

探究する (個人、20分)

- 生徒全員に、組み立て説明書の (セットの箱に同梱) の16ページにあるステップ1～20に従ってバスケットボールのモデルを組み立ててもらいます。
- 生徒用ワークシートには、ボールの運動におけるパターンを観察する実験のやり方が記載されています。

説明する (クラス全員、10分)

- どのようにしてゴールを入れたかを生徒に説明してもらいます。
- 下のような質問をしてください:
 - バスケットの高さが変わるにつれて、ボールの運動にどのようなパターンが見られましたか？ (バスケットの高さが上がるほど、得点を入れるのが難しくなりました。プロの試合ではバスケットの高さが決められていることについて話し合ってもよいでしょう。)
- 何が起るかどのようにして正しく予測しましたか？

さらに実践する (個人、10分)

- バスケットの高さを8に設定し、アームのピボット位置を変えて、一番遠い位置からゴールを入れることができるか挑戦してもらいましょう。注:これは生徒用ワークシートには記載されていません。

評価する (個人)

- 生徒全員に、それぞれのモデルで見られた動作のパターンの例を1つあげてもらいます。

どうすれば毎回シュートを決めることができるでしょうか？

- ボールを投げるアームとバスケットボールフープを作りましょう。組み立て説明書16ページを開いてください。ステップ1～12に従ってモデルを組み立ててください。
- バスケットボールフープの高さを「1」に設定します。
- フープを取り付け、アームをこのワークシートの右側にある正方形の中に置きます。
- ボールをカップに入れてアームを後ろに引き、手を離してボールを飛ばします。
- 練習しましょう。フープの高さを上げ、ピボットアームを色々な位置に動かしてみてください。
- 最適なフープの高さとピボットアームの位置はどこでしょうか？
- ボールの運動を観察して気づいたパターンを説明してください。

